

支部旗開き

1月20日(金)

午後7時開会

清瀬アミュー7階大ホール

けんせつ
清瀬久留米

発行所
東京土建一般労働組合
清瀬久留米支部機関紙
〒203-0054 東久留米市中央町5-10-17
TEL 042-473-8751
FAX 042-473-8753
http://www.tokyodoken.info/
発行者 鈴木 勝雄
編集者 角 毅 征

2012年 春風献上



迎春



執行委員長 石垣 雅之

昨年三月十一日に起きた東日本大震災と福島第一原発で被災され、いまだに不自由な生活を余儀なくされている多くの方々に、一日

も早く温かな希望の持てる春を迎えられる事を心よりお祈りいたします。
去年は、役員始め多くの仲間・書記局で支え合い、東京土建の諸活動にご協力を頂きありがとうございました。

農業・医療従事者を始め多くの国民が反対するなか、アメリカと財界や大企業が推すTPP（環太平洋経済連携協定）参加を示唆しました。

原発事故の処理すら全く進まないなかでの原発の推進や、沖縄普天間基地「移設」問題では国民の「米軍は沖縄から出ていけ」の願いを踏みにじる姿勢を変えません。

また、「税と社会保障の一体改革」では、公約違反の消費税率の引き上げと、年金制度、医療・介護保険の改悪が打ち出されています。

昨年はこのような情勢の中、組合員拡大運動を始め、土建国保を守る取り組み、建設アスベスト訴訟闘争、賃金単価を引き上げる公契約条例（法）を制定させる運動を行いました。

リフォーム助成制度を創設し仕事を確保する、その他多くの運動に多くの成果を収めました。

本年は清瀬久留米支部としてバーベキュー大会、バス旅行等の楽しいイベントも取り入れながら、東京土建の諸活動に多くの仲間の力を集結し、大いに頑張ります。

執行委員長 石垣 雅之

10年目を迎えた櫓組

東京花祭りが、旧年12月10日に西部地域センターで行なわれました。やぐら組や祭りの設営は前日の9日に行いました。

19回目の開催となった花祭りにおいて、やぐらの組立は今回で10年目を迎えました。設置の日は午前中にみぞれ混じりの雨が降り、恵まれな天候の中での作業となりました。



伝統文化を支える櫓組

やぐらは天井のみの組立のため大変危険な作業です。

滝山分会 秋元 進一



マグロのかぶと焼きに子どもたちも大喜び

若い女性組合員の参加や、女性のサンタさんも登場して会場は華やかでした。清瀬地域の佐々木議員の激励の挨拶もありました。参加者には自分の田舎を思い出し、夢中で餅をつく方々もいました。今年も古名さんが、慣れた手つきでかえし手を行いました。楽しいひとときもあっという間に過ぎてゆき午後3時頃に無事終了。参加者の皆さんご苦労様でした。

清里分会 鈴木 勝雄

大衆増税は国民への負担押しつけ

暮れも押し迫った12月22日、消費税法案が導入されすでに22年という月日

『社会保障の改善』を許すなど



上・東久留米駅ではサンタとどんちゃんが増税反対を訴える下・清瀬駅は飴付きチラシで宣伝行動を促進

するなど独自のアイデアで行いました。急に冷え込み、手のかじかむ中、市民の方々の反応も良く復興を言い訳にしながら、被災地の方々にも平等に負担が増える消費税増税・国の予算案など、最終的な国民への負担押しつけに対する不満も、市民の中で増えてきているのだと感じました。

2012年も引き続き、消費税増税への反対行動に力を注ぎ、宣伝行動を行っていきます。

今年もご協力よろしくお願い致します。

機関紙と通信員の役割



小倉教宣部長から開会のあいさつがあり、松尾書記

次長からは拡大結果など各支部の労をねぎらうお礼の言葉がありました。

今の政治はTPP、そして消費税増税などの国民への負担押し付けがあり、その一方で法人税は減税をすると明言しています。国民はマスコミや政府の発表を鵜呑みにし、政治への関心も希薄なため、今のところ大きな動きがない情勢で

あると報告されました。

また、米軍の基地問題では、「沖縄の基地は誰のために必要なのか」と題して石山永一郎氏による記念講演が行なわれました。

向井本部機関紙編集長は「貧困の連鎖を断ち、仲間機関紙発行、皆が知恵を出し合い家族、仲間、生活、そして仕事と権利を守るために情勢の学習と報告を行い、そして総括を発信する。」

清瀬久留米の教宣部長としても、今年は仲間により多くの活動報告をし、組合に興味を持ち参加してもらえるよう、教宣活動を行っていきます。

取材や記事依頼へのご協力よろしくお願い致します。

清里分會 鈴木 勝雄

オンラインワンの作品作り

清瀬・久留米支部にて12月13日(火) コケ玉作りに



参加しました。講師は、会長の山岸さんです。苔や土でのお団子作りからと思いきや... もう出来ているコケ玉に草木を装飾する、お手軽ながらもセンスが試される作品作りが始まりました。

短時間にもかかわらず、素晴らしい出来栄に大感激です。草木の色や種類によっても、表情が全然違うので、より個性が現れました。受け皿に乗せると又々景色が変わり、楽しくて世界が広がります。どんなお皿に乗せるか、何処に置くか...etc.

それぞれのオンラインワン作品を前に、談笑しながらティータイム♪とても楽しくて、有意義なひと時でした。

今年は辰年です。龍が持っている宝珠にコケ玉を置き換えて、平和の願いが届きますように。

元塩分会 主婦の会 島田 和江

青年代 クリスマスパーティー

地域との連帯を強めた

2011年も残すところわずかとなった12月23日、東京土建清瀬久留米支部の3階で、北多摩地域の青年(たまかフェ実行委員会)



上・幅広い職種の青年たちが交流した。左・多くの画伯が誕生した。「お絵描き伝言ゲーム」

準備を行いました。手作りの色付けしたマツボックリの置物やリース、看板などを設置していくと、クリスマスモードがどんどん高まっていきました。全体で参加者は40人程集まり、チーム戦で「イントロクイズ」や「お絵かき伝言ゲーム」「プレゼント交換」を行い交流しました。

また、実行委員でデコレーションした手作りケーキと、東京土建清瀬久留米支部役員さんからのケーキの差し入れ発表で、パーティーの盛り上がりは最高潮になりました。

久しぶりとなるクリスマスパーティーの開催で、実行員では準備段階で不安もありましたが、パーティーを終えて、次回もより一層多くの青年に参加してもらえよう、また内容も充実させて開催できよう頑張ろうという気持ちになりました。

次も開催できるよう、青年世代からも、地域運動を活発化し、地域との連帯で諸運動にも参加・活動していきたいと思っています。

白銀の世界へ

今年も、北多摩ブロック5支部の青年部員が集まってスキー・スノーボード交流ツアーを行います。対象は30歳までの青年層組合員とその家族です。バスを貸し切ったの1泊ツアーです。ぜひ、参加して下さい。

とき2月11・12日(土・日)と2月13日(日) 群馬県水上宝台樹スキー場

申し込み用紙を分会に配布

【職長の会】PALへの加入を

大手建設・住宅企業の現場に従事する職長や作業リーダーなどが集まる職長の会(PAL=Powerful.Active.Leaders)は、野丁場や住宅メーカーの現場従事者が産業民主化の運動に参加し、「もの言うリーダー」に成長することをめざし、交流と親睦による仲間意識を高め、意見交換を行うと共に、現場労働者の権利と役立つ制度を学んでいく場

として立ち上げた組織です。PALに寄せられた現場に対する集約された意見は、大手企業交渉などでの要求となります。

また、建設産業全体の賃金・労働条件に大きな影響をもつ大手企業に従事している職長の賃金水準が上げられ、建設産業全体に波及していきます。

大手企業従事者の組合員の皆さん、是非清瀬久留米支部PALへ御加入下さい。

詳細は支部までお問い合わせください

します。詳細は担当書記・角まで。